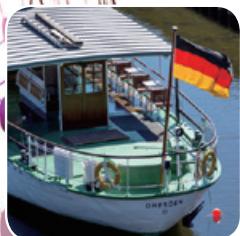


人と人をつなぐ、
あなたのベストパートナーでありたい。

IK INABATA



稲畑産業株式会社

株主通信

2017年3月期 第2四半期

2016年4月1日~2016年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2016年4月1日から同9月30日における事業の概況をご報告させていただきます。



代表取締役社長 西村 稯太郎

当第2四半期連結累計期間の概況について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速など弱さも見られましたが、全体として緩やかな景気回復が続きました。

一方、日本経済は、雇用情勢の改善が進んでいるものの、新興国や資源国経済の下振れ懸念がある中、企業の設備投資や個人消費が伸び悩み、景気の足踏み状態が続きました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、288,843百万円(対前年同期比1.3%減)となりました。利益面では、営業利益5,679百万円(同4.3%減)、経常利益6,416百万円(同4.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,677百万円(同2.3%減)となりました。

当期の見通しについて

3か年の中期経営計画の最終年度にあたる当期の見通しですが、直近の業績予想において売上高・利益共、目標値の達成が厳しい状況にあります。引き続き、中期経営計画に掲げる重点施策を一つずつ着実に実行し、具体的な成果を上げることで、可能な限り早い時期での目標値の達成を目指してまいります。

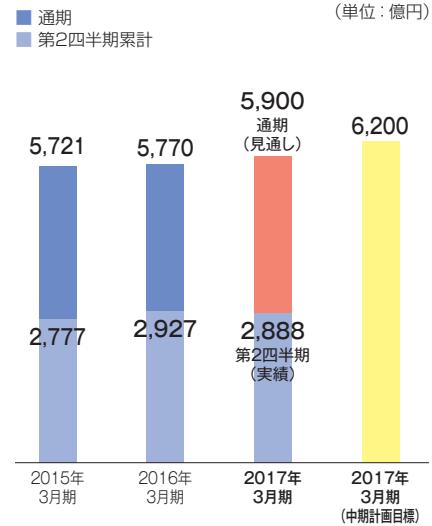
配当について

当期の中間配当金につきましては、当初の予定のとおり、1株当たり18円とさせていただきます。期末配当につきましては、1株当たり18円(中間配当とあわせて年間36円)を予定しております。

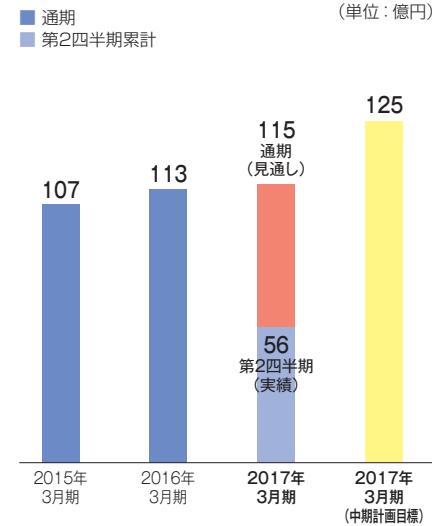
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

2016年11月

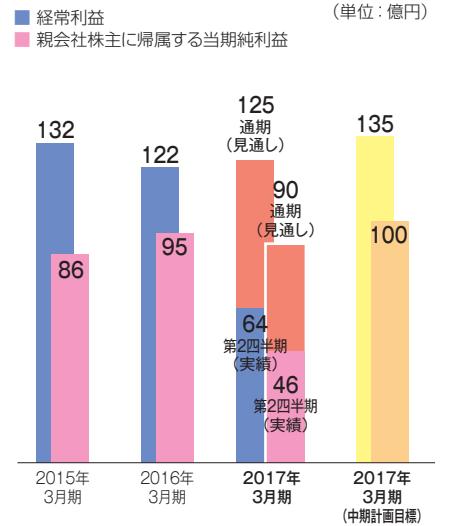
売上高



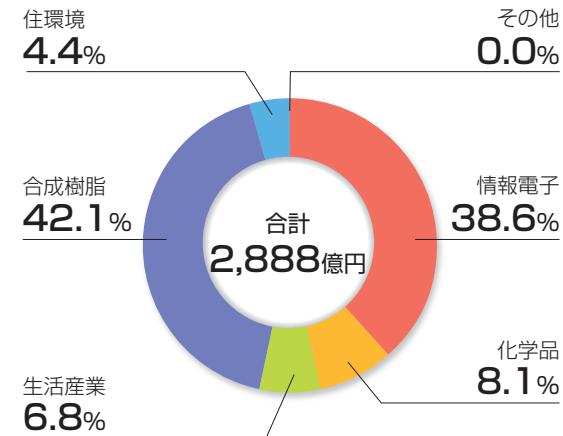
営業利益



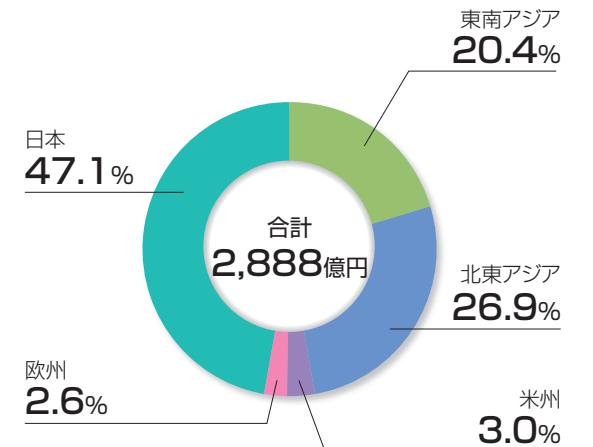
経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



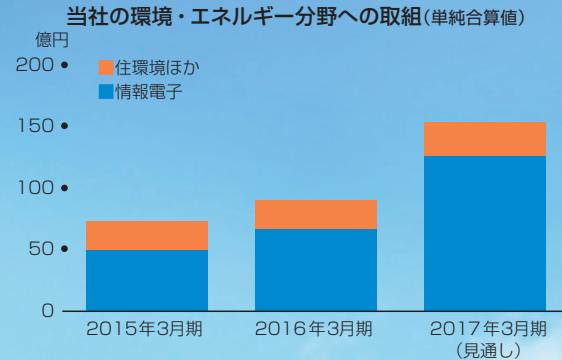
事業区分別売上高構成比



所在地別売上高構成比



当社は、2017年3月期を最終年度とする
中期経営計画「New Challenge 2016」において、
重点施策の一つとして
「成長が見込める市場・未開拓分野への注力」を掲げ、
環境・エネルギー分野に取り組んでおります。
ここでは、当社が取り組む環境・エネルギー分野における、
商材や事業をご紹介します。



太陽光発電 [情報電子事業]

太陽光発電は、地球温暖化の原因となるCO₂を排出しないクリーンなエネルギーです。日本は、中国、ドイツに続いて、世界第3位の太陽光発電能力を持っています。

当社は、日本や欧州の拠点を中心に、ワールドワイドで、太陽電池メーカー向けの銀ペーストなどの材料販売、太陽光発電プロジェクトへのソーラーパネル、パワーコンディショナー、架台などの販売を行っています。

二次電池(リチウムイオン電池) [情報電子事業]

二次電池は、携帯電話などのモバイル機器をはじめ、ハイブリッド車やEV車といった自動車、また家庭用や防災用の蓄電池など、その用途は多岐にわたっており、今後も市場の大きな拡大が見込まれる成長産業です。

当社は、セパレータや負極材など、リチウムイオン電池を構成する部材の販売を行っています。また、関連会社のエルクセル(株)との協業により、電池の最先端技術を把握し、ビジネスにつなげています。



当社が出資するエルクセル(株)は、電池材料の評価、電池の試作や少量生産といった受託ビジネスを行っています。



パーティクルボード [住環境事業]

パーティクルボードは、木くずや廃材の小片を接着剤を用いて成形熱圧した建築材料です。原料は100%リサイクルですので、再使用されずに焼却された場合に発生するCO₂の削減効果があり、また森林資源の保全にも貢献します。

当社は、1963年からパーティクルボードの取り扱いをはじめ、その環境性能から住環境事業の重点テーマとして取り組んできました。現在は、国内だけでなく東南アジアでも販売しています。

パーティクルボードの主な用途

- ▶ 戸建住宅、マンションの床下地
- ▶ 屋根下地
- ▶ 一般家具(軽家具)
- ▶ キッチン、洗面化粧台用の部材



バイオマス発電 [情報電子事業]

バイオマス発電は、木くずなどを燃料とする発電方式です。燃焼の際にはCO₂が発生しますが、植物は成長過程においてCO₂を吸収するため、トータルでは大気中のCO₂の量は増加しないと見なされます(カーボンニュートラル)。当社は、バイオマス発電用の燃料販売に取り組んでおります。



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前期末 2016年3月31日現在 | 当第2四半期連結会計期間末 2016年9月30日現在 | 増減額 |
|---------|---------------------|-------------------------------|--------|
| 流動資産 | 222,446 | 225,033 | 2,587 |
| 固定資産 | 82,989 | 96,104 | 13,114 |
| 資産合計 | 305,436 | 321,137 | 15,701 |
| 流動負債 | 138,147 | 139,536 | 1,389 |
| 固定負債 | 40,263 | 45,808 | 5,544 |
| 負債合計 | 178,410 | 185,344 | 6,933 |
| 純資産合計 | 127,025 | 135,793 | 8,767 |
| 負債純資産合計 | 305,436 | 321,137 | 15,701 |

point 1 固定資産の増加

時価の上昇により投資有価証券が増加した等のため、13,114百万円増加しました。

point 2 純資産の増加

利益剰余金の増加に加え、その他有価証券評価差額金が増加した等のため、8,767百万円増加しました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前第2四半期連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日 | 当第2四半期連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日 | 増減額 |
|------------------|--|--|--------|
| 売上高 | 292,740 | 288,843 | △3,897 |
| 売上総利益 | 20,651 | 20,394 | △256 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,718 | 14,714 | △3 |
| 営業利益 | 5,932 | 5,679 | △253 |
| 営業外損益 | 806 | 736 | △69 |
| 経常利益 | 6,739 | 6,416 | △322 |
| 特別損益 | - | 682 | 682 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,785 | 4,677 | △108 |

point 3 売上高の減少

ビジネスは好調も、円高の影響により、3,897百万円減少しました。

point 4 営業利益の減少

円高の影響により、253百万円減少しました。

point 5 親会社株主に帰属する四半期純利益の減少

投資有価証券売却益があるものの、経常利益の減少や税金費用の増加により、108百万円減少しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

| 科目 | 前第2四半期連結累計期間 2015年4月1日～ 2015年9月30日 | 当第2四半期連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日 | 増減額 |
|--------------------------|--|--|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,913 | △4,083 | △5,997 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △80 | 1,437 | 1,518 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,167 | 2,940 | 7,107 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △243 | △1,287 | △1,044 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △2,576 | △993 | 1,583 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 17,394 | 17,088 | △306 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 | 49 | - | △49 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,867 | 16,094 | 1,227 |

詳しくは

会社概要

(2016年9月30日現在)

| | |
|-------|---------------------------------|
| 会社名 | 稲畑産業株式会社 |
| 創業年月日 | 1890年10月1日 |
| 設立年月日 | 1918年6月10日 |
| 資本金 | 93億6千4百万円 |
| 従業員数 | 619名(グループ会社への出向者を含む) [連結3,507名] |
| 大阪本社 | 大阪市中央区南船場一丁目15番14号 |
| 東京本社 | 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号 |
| 名古屋支店 | 名古屋市中区名駅二丁目27番8号 |
| 営業所 | 松本営業所、九州営業所(霧島市) |

役員

(2016年9月30日現在)

| | | | |
|-------------|---------|-------|---------|
| 代表取締役社長執行役員 | 稲畑 勝太郎 | 常勤監査役 | 上 杉 隆 |
| 代表取締役専務執行役員 | 西 村 修 | 監査役 | 鈴木 修一 |
| 代表取締役専務執行役員 | 赤 尾 豊 弘 | 監査役 | 高 橋 慶 孝 |
| 取締役常務執行役員 | 横 田 健 一 | 監査役 | 森 本 親 治 |
| 取締役常務執行役員 | 佐 藤 友 彦 | 執行役員 | 小 田 吉 哉 |
| 取締役執行役員 | 杉 山 勝 浩 | 執行役員 | 安 江 範 臣 |
| 取締役 | 高 萩 光 紀 | 執行役員 | 大 橋 基 雄 |
| 取締役 | 高 尾 剛 正 | 執行役員 | 幡 本 裕 之 |
| 取締役 | 中 村 克 己 | | |

(注)1 取締役 高萩 光紀、高尾 剛正及び中村 克己は、社外取締役であります。
2 監査役 鈴木 修一、高橋 慶孝及び森本 親治は、社外監査役であります。

株式情報

(2016年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 ————— 普通株式 200,000,000株
- 発行済株式の総数 ————— 普通株式 63,499,227株
- 株主数 ————— 7,094名
- 大株主の状況(上位10名)

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---|-------------|-------------|
| 住友化学株式会社 | 13,836 | 22.2 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 3,625 | 5.8 |
| JP MORGAN CHASE BANK 380684 | 3,078 | 4.9 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,613 | 4.2 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 1,736 | 2.8 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 1,507 | 2.4 |
| CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO | 1,348 | 2.2 |
| 稲畑 勝雄 | 1,161 | 1.9 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,114 | 1.8 |
| 丸石化学品株式会社 | 961 | 1.5 |

(注)当社保有の自己株式数(1,209,951株)につきましては、上記の表及び持株比率の計算より除いております。

<http://www.inabata.co.jp>

稲畑産業 投資家 検索

当社WEBサイト「投資家向け情報のページ」へ是非お越し下さい。

より詳しい財務データやIR情報をタイムリーに掲載しております。



» 株主メモ

| | |
|-------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 基準日 | 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。 |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 公告の方法 | 電子公告 当社のホームページに掲載します。 http://www.inabata.co.jp/koukoku ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第1部 |
| 証券コード | 8098 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 会計監査人 | 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号 銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人 |
| 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-782-031 |
| (ホームページURL) | http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

【特別口座について】

株券電子化前(ほぶり(株式会社証券保管振替機構))を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といたします。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

マイナンバーに関するお知らせ

2016年1月からマイナンバーの利用が開始されました。市区町村から通知されたマイナンバーは、当社が作成する配当金や株式の譲渡取引に関する支払調書など法令に定められた調書に記載し、税務署へ提出する必要があるため、株主様からお取引の証券会社等へお届出いただく必要がございます。

〈マイナンバーのお届けに関するお問合せ先〉

| | |
|-----------------------|-------------------------|
| 証券口座で当社の株式を管理されている株主様 | お取引の証券会社 |
| 証券会社とお取引がない株主様 | 上に記載の三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |

株主優待制度

毎年9月30日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主様に、下記の株主優待品を同封しております。

当社オリジナルQUOカード

継続保有期間3年未満の株主様

QUOカード500円分

継続保有期間3年以上の株主様

QUOカード1,000円分



※継続保有期間3年以上とは・・・

毎年9月30日を基準日として、3年前以降の全ての基準日において、株主名簿に同一の株主番号が継続して記録されている株主様をいいます。

お知らせ

▶ 「野村IR資産運用フェア2016」に出展します

当社は、12月13日・14日「野村IR資産運用フェア2016」(会場：東京国際フォーラム、主催：野村インベスター・リレーションズ(株))に出展いたします。ぜひ、お立ち寄り下さい。

詳しくは、下記ページをご覧ください。

<http://fair.nomura-ir.co.jp/ja/index.html>

(野村インベスター・リレーションズ(株)のWEBサイト)